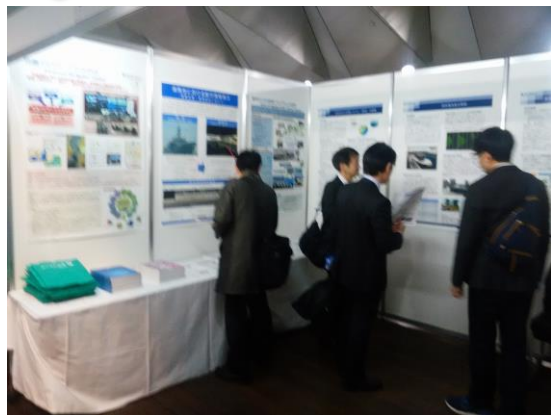


# うみコン2019 海と産業革新コンベンション —東京海洋大学ブース出展—



うみコン2019 東京海洋大学ブース

- ◆事業名  
うみコン2019 海と産業革新コンベンション
- ◆活動主体  
海洋都市横浜うみ協議会
- ◆対象者  
企業、研究機関、大学、自治体等の海洋産業に携わる関係者
- ◆開催日  
平成31年2月20日(水)、21日(木)
- ◆場所  
大さん橋ホール
- ◆関連URL  
うみコン: <http://www.umi-con.com/>

## 目的

うみコン2019は、最新の技術や情報を共有・融合し、海洋産業の振興・活性化につなげるため、研究やビジネスに携わる人が、一堂に会する場を目指し産官学の連携組織「海洋都市横浜うみ協議会」によって開催される新しいコンベンションです。2回目となる今回は、前回以上に内容を充実し、海洋に関する企業・研究機関・大学などが集積する横浜に、技術・研究成果・情報・製品が集結し、さまざまな関係者との交流やビジネスとのきっかけ作りを目的としました。

※海洋都市横浜うみ協議会

平成27年9月28日、「海洋都市横浜」の実現に向けて、「産」、「官」、「学」連携を推進するためのプラットフォームとして、「海洋都市横浜うみ協議会」が設立され、本学もこれに参画しています。

## 概要(実施イベント)・成果

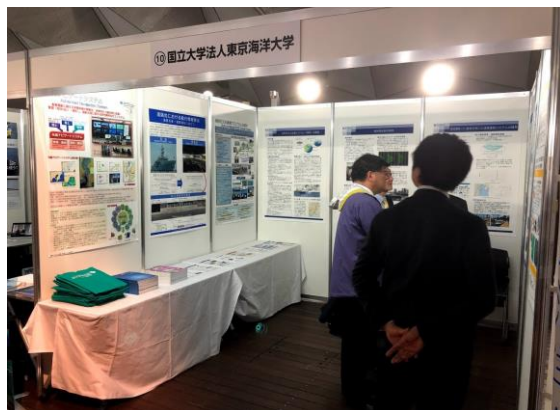
2回目となる今回の「うみコン2019」は、2019年2月20日(水)・21日(木)の2日間にわたって、横浜・大さん橋ホールにて開催されました。企業・研究機関等のブースが設けられ、水産、養殖、海洋資源、海洋観測、ロボティクス、再生可能エネルギー、IoT、レジャー等をテーマに各ブースにおいて最新技術、研究等が紹介されていたり、その他、テーマごとにセッションが設けられ基調講演、研究成果・技術・取組の発表、研究成果や技術開発を紹介したポスター展示、海に関する仕事セミナー等が催されました。

本学もブースを出展し、「先端ナビゲートシステム」、「遠隔地における航行情報表示-遠隔支援・遠隔操船に向けて-」、「次世代水上交通システムの開発」、「燃料電池船の開発」他の本学における最先端の研究紹介を行いました。

20・22日の両日を含め、2,000名を超える多くの企業、研究機関、大学、自治体等の関係者の皆様の来場者があり、本学ブースにも約70名を超す皆様にお立ち寄りいただき、大学の研究紹介の説明に熱心に話を聞いていただき、また、有用な情報交換ができました。

## 期待される効果

本学は、全国の海洋産業に関わる地域等との産官学にわたる多様な連携を充実拡大し、本学の海洋に関する教育研究拠点としての役割に鑑み、教育研究の成果と資源をもって地域社会及び関連産業界へ貢献することが求められています。本学が、うみコン2019に参加することは、水産、海事、海洋の利用に関する総合的な情報発信を担い、本学が取り組む教育研究や最新のプロジェクト等を積極的に情報発信していくことになり、当コンベンションの目的でもある海洋関連産業の振興・活性化につながり、発展に貢献するものと期待されます。



うみコン2019 東京海洋大学ブース